

一喜一憂

No. 7

「一喜一憂」

状況の変化に喜んだり、心配したりすること

藤屋 侃士

(下松市幸ヶ丘)

「四月」は出発のとき

先日、一年ぶりに訪ねて来てくれた友人から、「今まで行った旅、旅はどこに行くかもで、一番良かったのは？」と聞かれた。

私は迷わず、「フランクフルト」と答えた。2015年結婚50年記念という事で妻と娘2人の4人で行った旅だ。フランクフルトを拠点に、世界遺産のケルン大聖堂、日本人ドライバーのタクシーでのライン川沿いの村巡り

など、のんびりとしたペースで楽しんだ。旅はどこに行くかも大切だが、「誰と行くか」と聞かれた。私は迷わず、「フランクフルト」と答えた。2015年結婚50年記念という事で妻と娘2人の4人で行った旅だ。フランクフルトを拠点に、世界遺産のケルン大聖堂、日本人ドライバーのタクシーでのライン川沿いの村巡り

この4月に東京のイグナチオ教会に転勤になられた。

柴田神父は、震災直後から被災地でボランティア活動をされた。2012年末から、私も柴田神父と共に被災地でのボランティア活動に参加した。(その時のことは、2013年の「巡礼の道」の連載。インターネットのホームページに掲載中。「ふじやかんじ巡礼の道」で検索してください)

あつた。パウンドケーキを50本以上焼いて届けたいこと、防府の「笑い講」は人気があったことなど話に花が咲いた。

2012年末から、私も柴田神父と共に被災地でのボランティア活動に参加した。(その時のことは、2013年の「巡礼の道」の連載。インターネットのホームページに掲載中。「ふじやかんじ巡礼の道」で検索してください)

写真の1枚は、私がマザー・テレサのことを紹介しているものだった。

自分ができることが少なくなっていることを感じる日々だが、これまでの出会いに感謝する。マザー・テレサのことばに心を馳せ、誰かのために祈ることを続けていきたい。

ナチオ教会に転勤になられた。

「わたしたちのすることは、大海の

たつた一滴の水にすぎないかもしれません。でも、その一滴の水が集まって大海となるのです」

私に「誰と行くか」と聞かれた。私は迷わず、「フランクフルト」と答えた。2015年結婚50年記念という事で妻と娘2人の4人で行った旅だ。フランクフルトを拠点に、世界遺産のケルン大聖堂、日本人ドライバーのタクシーでのライン川沿いの村巡り

マザー・テレサのことを紹介しているものだった。

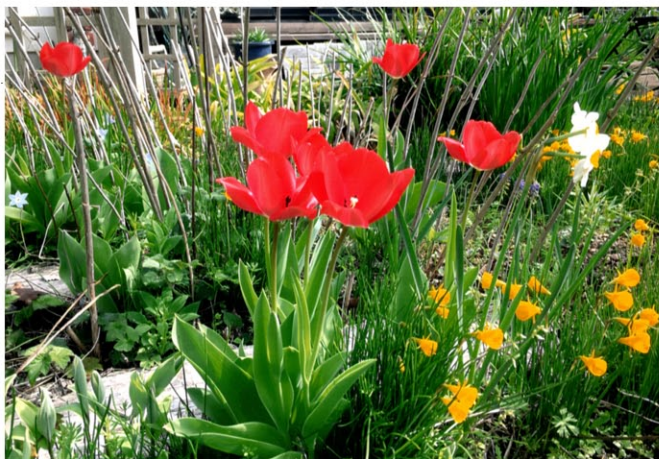
自分ができることが少なくなっていることを感じる日々だが、これまでの出会いに感謝する。マザー・テレサのことばに心を馳せ、誰かのために祈ることを続けていきたい。



活動をリードしてきた柴田神父



大槌町でマザー・テレサのことばを紹介



庭の満開のチューリップ

忙しい時間の合間を縫って我が家まで来て下さった。写真はA4判に大きく現像されたもので、私が話している様子を中心に8枚も